

# 学則の変更の趣旨等を記載した書類

## ア 学則変更（収容定員変更）の内容

平成 30 年 4 月、仏教科（入学定員 20 名）の学生募集を停止し、これにともない大谷大学短期大学部の収容定員を 40 名減員する。

学科名	変更前		変更後	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
仏教科	20	40	0	0
幼児教育保育科	80	160	80	160
合計	100	200	80	160

## イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

仏教科においては、平成 18 年度以降、入学定員を満たす入学者を確保することができない状況が続いている。平成 21 年度及び平成 25 年度には入学定員の適正化（削減）を行い、募集広報の強化にも努めてきた。定員削減後の入学定員充足率は改善したが、定員を充足するには至っていない。

こうした現状に鑑み、併設大学である大谷大学を平成 30 年度より学部改組する計画と一体的に検討を行った結果、仏教科については、その教育実践・成果を発展的に大谷大学文学部へと統合することとし、平成 30 年度より学生募集を停止することとした。

## ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

### （ア）教育課程の変更内容

学生募集停止による収容定員の減員であるため、教育課程等の変更を行う計画はない。

### （イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容

在籍学生が卒業するまでの間、必要となる授業科目を開設し、履修指導を継続して行い、教育条件の維持には万全を尽す。

(ウ) 教員組織の変更内容

教員組織についても、在籍学生が卒業するまでの間、学科運営や履修指導に必要な教員組織を維持する。なお、最後の在籍学生が離籍した後の仏教科所属教員は、すべて併設の大谷大学に移籍する予定である。

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容

施設・設備については、引き続き大谷大学短期大学部（幼児教育保育科）が使用する予定であり、大学全体の施設・設備の変更はない。

以上